

# いしずえ

恵那北中学校 学校だより 第120号  
発行：平成22年11月26日(金)

「いしずえ」の名称は、校歌の一節「学ぶこと それは礎」から生涯学習の基礎を学ぶ生徒達の心と体の成長を願ってつけました。  
NOは創刊号以来の通番でつけております。

## 子どもたちに「生き合う力」をつけたい



校長 田島英明

先日、飯地小学校の『いいじっ子発表会』を参観させていただきました。

全校児童39名一人一人が、自分の役割をしっかりと果たしている素晴らしい発表会でした。

低学年は、入学からこれまでの生活について、中学年は、大豆の栽培

についての研究から、高学年は、宮沢賢治の作品『どんぐりと山猫』を分かりやすく演じていました。どの子ども堂々と発表ができて、素晴らしい力をつけているなと嬉しく思いました。

次に嬉しかったのは、発表会の後に豚汁をいただいた時のことです。子ども達みんなで作った野菜を中心にして調理した豚汁をいただきました。この豚汁に使われた味噌は、昨年の6年生【現中学1年生】が作ったものだということで、中学生もお呼ばれに来ていました。こうして卒業生や地域でお世話になった人と一緒にいただいたお昼ご飯は、本当においしかったです。

どの人も知り合いで、地域全体が温かいファミリーだなと感じる一日でした。

さて、世の中では、いじめや虐待、少年の非行等の問題に加え、頑張っているにもかかわらず就職できないといった社会不安が続く中、子ども達を取り巻く環境は、決して油断の許せない状況にあります。

しかし、飯地小学校の子ども達を見ていると、このような問題とは全く関係がないように見えるほど、地域や家族の人々に温かく見守られて、本当に幸せ一杯の様子でした。

こうした問題が、身近に起こりにくいのはどうしてでしょうか？

やはり、三世大家族、またはそれに近い環境ということで、みんながそれぞれの立場でものを考え、それぞれの持ち場を精一杯受け持っていてという協同生活が成り立っているからでしょう。それによって、他人のことを考えられる人間が育つのでしょ

就職難が叫ばれている今、『こうした田舎の生活では、都会に出て仕事ができない。』と心配している人がいますが、逆です。都会の便利で人間関係の薄い社会で育った子どもに比べたら、どれくらい「間に合う人間」が育っていることでしょう。そのためには、家庭の中で、分業を行い、家のことが何でもできるようにしてあげることが、何よりも大事なのです。

都会では、学校で「お弁当の日」を作って、子どもだけでお弁当が作れるようにしようという動きさえあります。これを始めた先生たちの意見として、『家庭に、その力がないから、学校でやるしかない。』ということを知れば、やはり、家で簡単な料理くらいできるように(男女問わず)育てたいです。それもできないで、会社勤めもなかったものではないと思います。

三世大家族やそれに近い社会で育っている子ども達だからこそ、他人の気持ちが分かり、どうすればよいのかが分かる力が身に付いています。「家の手伝いはしない。勉強もしない。それでいてゲームばかりしている。」そんな生活をしていたら、どこにも働き口はありません。都会にはない環境の中でこそ培われていく生活力が、この地域で養うことができると思います。私たちにできることは、一緒にいる仲間のために何かをしてあげる。仲間と共に「生き合う力」を付けてあげることです。



## もっと笠周三町(恵那北中校区)を広めよう

10月の「市長と語る会」の後、ふるさとふれあい事業として、山岡中学校の1年生が本校を訪れてくれました。山岡中学校の生徒数は、150名で、北中より少し大きい学校ですが、いずれ各学年とも1クラスになってしまいますようです。似たような学校規模と環境の中で育っている同じ恵那市の中学生がお互いに交流を深め、お互いの地域を知ることが、大変意義深いと思っています。

まず、北中校区の笠周三町の自慢を紹介しました。

笠置と言えば、笠置山、ロッククライミング、ペトログラフ、ヒカリゴケ。中野方と言えば、折坂棚田、中野方ダム。飯地と言えば、五毛座歌舞伎。自分たちが演じた場面を紹介しました。

自分たちの地域だけの伝統芸能のような気持ちになっていたようですが、山岡にももちろん歌舞伎があるということをお互いに知らなかったようです。



はじめは、どちらも緊張した感じでしたが、それぞれが作ったクイズを出し合う頃には、打ち解けた感じで、いい雰囲気の中交流を進めることができました。お互いが、合唱を披露することいい刺激にもなったようです。



市長と語る会の中でも話がありましたが、地域を背負っていくのは、今の中学生です。かつての旧恵那市と恵南地区と区別されていた時代は終わりました。みんなが恵那市民として、どんな市を作りたいのか、どんな市にしたいのかを、今のうちから語っていく必要があると思います。

校長 田島

### 感動のある合唱祭でした！ 6日(土)

昨年度はインフルエンザの影響で学級閉鎖が相次ぎ、全学年揃っての開催ができませんでしたが、今年は、インフルエンザの影響もなく素晴らしい合唱祭が開催できました。

短い取組期間の中、各学年とも学年合唱2曲、全校合唱1曲の計3曲をよく仕上げたと思います。

なかでも3年生の合唱祭に向けてのスローガンはユニークで、「31人31音」でした。31人で31音出したらハモれないのでは？と心配もしたのですが、さすが最高学年でした！！“全校を引っ張るのは自分たち”という自負心や、一人一人の真剣な想いが声と姿になって表れていました。感動された保護者のみなさんも多かったことでしょう。生まれも考え方も合唱に対する気持ちも全く同じという仲間はいない31人。けれど、目標も心も一つにして31人が31音を出せば素晴らしいハーモニーになることを実証してくれました。たのしい、かっこいい3年生でしたね。「31人31音」は、北中にとって伝説のスローガンになりそうです。



3年生による合唱の様子



全校合唱の様子



PTAコーラス (コールノース)



観客のみなさん



後半の部では、中津商業高校吹奏楽部のみなさんによるコンサートを楽しませていただきました。北中出身の先輩たちが部長・副部長等で大活躍していることを知り、大変嬉しかったですね！

## 紅葉真っ盛りの中 写生大会開催！ 9日(火)



作品展示&投票期間：社会開放棟玄関に12/11(土)「駅伝大会」まで展示&投票  
\*昨年度より投票上位3作品は、優秀賞受賞作品として額装し、本人が二十歳になるまで展示します。  
\*投票用紙は職員室で保管しておりますので、職員に一声おかけください。ぜひ投票をお願いします。

## 資源回収 今年も大変お世話になりました

ご協力をいただきました保護者のみなさま、地域のみなさま、ありがとうございました。また、自治会の集積場所を関係各位のご理解によって今年度も使わせていただき、ありがとうございました。部活関係の費用に大切にさせていただきます。来年もよろしくお願い致します。

# 12月・1月の行事予定

12月			バス	1月			バス
1	水	3年三者懇談 1年ふるさとふれあい交流会	16	1	土	元旦	
2	木		16	2	日		
3	金	子ども展搬出	16	3	月		
4	土	部活動	12	4	火	仕事始め	
5	日			5	水		
6	月		16	6	木		
7	火	PTA 役員選考会	16	7	金	↓	
8	水		16	8	土		
9	木		16	9	日	岐阜新聞学力テスト	
10	金	学校評価アンケート配布	16	10	月	成人の日	
11	土	校内駅伝大会	12	11	火	始業式 校内書き初め展	12
12	日	駅伝大会予備日		12	水	3年実力テスト 国体プレ	16
13	月	振替休業日		13	木		16
14	火		16	14	金		16
15	水		16	15	土	授業参観 学年懇談会 ↓	15
16	木		16	16	日		
17	金	学校評価アンケート〆切	16	17	月	振替休業日	
18	土	部活動	12	18	火	PTA 専門委員会	16
19	日			19	水		16
20	月	1・2年スケート教室	16	20	木		16
21	火		16	21	金	3年生総合テスト	16
22	水		16	22	土		
23	木	天皇誕生日		23	日		
24	金	終業式(午後)	14	24	月		16
25	土			25	火		16
26	日			26	水		16
27	月	冬季休業日		27	木		16
28	火			28	金		16
29	水			29	土		
30	木			30	日		
31	金			31	月		16

12 / 11 (土) 校内駅伝大会 大勢のご参観・ご声援をお持ちしております。

**学校評価アンケートにご協力をお願い致します。**

今年度の学校の教育活動を振り返り、今後の学校運営に反映させていくために、保護者のみな様や学校関係者のみな様を対象とした学校評価アンケートを次のように実施します。

12月10日(金)...お子さまを通じて配布します。(個別に封筒に入れて配布します。)

12月17日(金)...この日までにご回答をお願いします。(封筒に入れてご提出ください。)

師走のお忙しい時期ですが、何とぞご協力よろしくお願い致します。